

2014年を迎え早2ヶ月が経ちました。今年も大隈記念館をどうぞ宜しくお願い申し上げます。大隈記念館は築50年近い建築物で、今年いよいよ初めての大規模な改修工事が予定されています。今年が記念館にとって新たな出発の年となるのではないのでしょうか。改めて大隈侯の功績を再認識し、幅広く大隈侯を知っていただけるよう、記念館としてもさまざまな活動を行っていきます。

大隈侯93回忌法要が営まれました

大隈重信侯の命日である1月10日(金)に、93回忌法要が大隈家菩提寺である龍泰寺で営まれました。佐賀稲門会の方々を初め、40名にのぼるご参列をいただきました。毎年、命日には法要を営み、龍泰寺本堂と境内にある大隈侯のお墓で読経し、遺徳を偲んでいます。テレビ局の取材も入り、より多くの方々にご報告できたのではないかと思います。大隈侯のお墓は護国寺と龍泰寺にあります。この龍泰寺では大隈侯の遺髪と切断された足が安置されています。



▲ 大隈侯の墓前に手を合わせる参拝者

企画展開催！「大隈家の女性たち」～女子教育に注いだ熱き思い～

毎年、佐賀城下ひなまつりにあわせて企画展を開催しています。今年も2月15日(土)から3月23日(日)まで開催します。今回は「大隈家の女性たち～女子教育に注いだ熱き思い～」と題してお届けします。

大隈重信は内閣総理大臣に2度就任し、早稲田大学を創設するなど数々の偉業を成し遂げました。その大隈のそばにはいつも聡明な女性の存在がありました。大隈はそんな彼女たちに生涯支えられて、常に感謝の意と敬意を払いました。女子教育に力を注いだ背景には彼女たちの影響が強かったのかもしれませんが。また大隈には美登という前妻がいました。唯一の実子である熊子の実母です。今回、大隈記念館では初めてこの美登という女性についてご紹介します。

大隈を支えた女性たちの素顔と、大隈が築き上げた女子教育の功績を知っていただける機会となりましたら幸いです。

展示品としては、大隈家の女性たちが使用していた調度品や写真をはじめ、女子教育関連の文献資料等、約60点を展示いたします。この機会にぜひご覧ください。



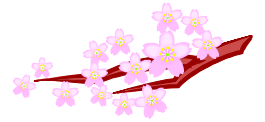
ボランティアグループまきの会通信！



▲ まきの会による紙芝居

2月15日(土)から3月23日(日)のひな祭り期間中の土日祝日は、大隈重信侯生家を一般公開しています。公開中はまきの会のメンバーが生家をご案内いたします。会の皆さんならではの面白い話も聞けますよ。クイズや紙芝居もします。生家の内部を見学できるこの機会にぜひ足をお運びください。「まきの会」の会員も随時募集しています。一緒に佐賀の歴史や大隈侯について勉強しませんか？

大隈記念館活用事業のご報告とご案内



2月2日(日)、講師に徳永浩先生をお迎えし、『日本人の肌に合うコンプライアンスの構築と実践』と題する講演会を開催いたしました。徳永先生は日本伝統文化の普及を目指す永廉会を主宰されており、徳永法律事務所の代表者で、また行政書士の先生でもあります。当日は30名近い受講者の方が来館され、熱心に先生のお話に耳を傾けていました。次回のイベントは3月30日(日)パッハプレイヤーズの皆さんによる演奏会を予定しております！大隈記念館活用事業にご興味のある方は大隈記念館までお気軽にお問い合わせください。



▲ 講演中の徳永先生

大隈記念館 TEL:0952-23-2891 ホームページ <http://www.okuma-museum.jp>

大隈記念館 スケッチ大会 開催



小中学生を対象としたスケッチ大会が大隈記念館敷地内にて行われます。二紀会佐賀支部の先生方による絵の指導もあります。参加者全員に参加賞をプレゼント！参加は無料です。たくさんのご応募お待ちしております。

日時：平成26年3月21日(金)10:00～15:00 ※悪天候時は3月23日(日)に順延
申込み：【住所・氏名・年齢・学校名・学年・連絡先・開催を知った理由】を明記の上、3月14日(金)までに佐賀市観光振興課までメール、郵送、FAXにてお申込みください。

▲ スケッチ大会の様子

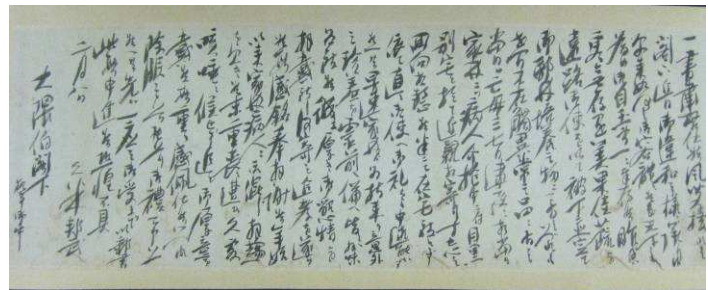
佐賀市観光振興課：佐賀市栄町 1-1 / FAX:0952-26-6244 / Email:kanko@city.saga.lg.jp

収蔵資料の紹介

「久米邦武書翰 大隈重信(執事)宛」

今回紹介する資料は久米邦武が大隈重信執事宛に送った書翰です。久米邦武は佐賀八幡小路に生まれ、大隈と同じ弘道館で学問に励みました。この書翰は明治29年2月8日付けのもので久米の母の法要に、大隈が邸宅内で栽培したであろう果物を送ったことによるお礼の手紙と考えられます。

明治4年(1871年)各国条約改訂御用掛に任命された大隈は、条約改正の使節団を編成して予備交渉に向かう計画を立てていました。これに対し、薩摩の大久保利通は、条約改正は新政府最大の重要事項だとして、公卿の岩倉具視をたて、薩摩・長州出身を中心とする大使節団を率いて、自らが諸外国を歴訪することにしました。この中には、佐賀藩からも久米邦武や山口尚芳らが同行しました。



記念館よりお知らせ

- ◎ 開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- ◎ 休館日：年末年始(12/29～1/3)
- ◎ 入場料：大人300円・子ども150円(団体割引あり)



大隈記念館企画展 ギャラリートークのご案内

展示ではお伝えしきれなかったエピソードや資料をご紹介します。

日時：平成26年3月15日(土) 13時30分～14時

※ 料金は通常の入館料のみです。